

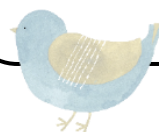


つみきのくらし

NO.25

日々の暮らしの中で、こども園つみきとして大切にしたいことや、こどもとおとなの素敵な姿をお伝えしていきます。

井鳥 佳織



どうして保育改革が始まったのか

子育てや、保育をめぐる社会状況の変化を受けて、保育所保育指針が2017年に改定され、2018年に施行されました。こども園つみきは2019年に保育の見直しを図り、ランチルーム形式の採用と環境整備の検討を行い、2020年から保育と環境整備改革を本格的に始動しました。

つみきの保育の見直しの軸『生きていく力を育む』の背景には、子ども達が社会人として働き、生きていく世の中は、2040年問題、指数関数的な成長をし続けている情報社会、多様性等の時代です。

現在ですら、「企業で求める人材能力」をキーワードで検索すると「これまでのルールや価値観にとらわれずに、ゼロベースで考えて新しいことを始められる能力」「答えのない時代」「問題解決能力」などが求められています。また、自分の人生を設計していく過程には無数の選択肢があり、その選択肢を自分自身で見つけ選択しながら自己決定していくことが大切です。その能力の基盤を育んでいく重要な時期が幼少期(こども園時代)であり、指針に基づき遊びを通して『非認知能力』を育んでいこうとこれまでの方針を見直しました。現在はこの方針に基づき「豊富な選択肢の中からやりたい・やってみたいを自分で選択し挑戦する」「失敗を保証(失敗から学ぶ)する」「やりたい・やってみたいを原動力に試行錯誤する」ができる保育・保育環境整備に取り組んでいるところです。

改革スタート時、つみきの保育のどういうところに着眼し、始まりとしたのか……。この部分を保護者の皆さんに改めて共有したいと考え、先日配布しました『つみきのくらしをのぞいてみませんか?〜つみきの改革のはじまり〜』2月6日(火)19:00~20:30を開催します。託児もありますので、ぜひ、お問い合わせの上、参加いただけたら幸いです。

以前の環境を思い出してみませんか?



保育室。遊びの選択肢が乏しく、遊びの住み分けがわかりづらい……。広めの空間が空いていると走りたくなっちゃう。



鉄製遊具全撤去した直後。築山もなく……。広域で泥んこ遊びができたのは、ある意味面白い体験だったかも。



何も無いホール。ただ広いので、子どもが本能的に走り回り、衝突しやすかった悩み。自分で遊びを選択することもできず、保育者が用意したものでしか遊べなかった。



天気も気温も最高な日に、焼きマシュマロをしました!今回は、焼きマシュマロをバスケットでサンドできる選択も追加!3~5歳児さんは、自分で焼きました。「あまり好きでないけど今日は食べるんだ♪」という子が意外と多かったです。



冬の炭火はあったかくて、ほっこりとした空間になります。



支援センターのみなさんにもおすすめ分け!

